

平成23年1月25日  
東北地方整備局

## 入札監視委員会の審議概要について (第一部会第3回定例会議)

東北地方整備局入札監視委員会の第一部会第3回定例会議は、12月10日(金)に仙台市の東北地方整備局で開催されましたので、その審議概要(別紙)についてお知らせします。

議事では、委員会が抽出した案件11件の審議が行われ、意見の具申又は勧告事項はありませんでした。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

### 問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局

(第一部会) 仙台市青葉区二日町9番15号

TEL (022) 225-2171 (代表)

主任監査官	くまが	がい	い	さ	お	(内線2114)
入札契約監査官	熊	谷	伊	佐	男	
契約管理官	丸	山	栄	菜	はる	(内線2220)
技術開発調整官	新	野	俊	晴	はる	(内線2222)
	こ	せ	賢	次	はる	(内線3120)

東北地方整備局 入札監視委員会（第一部会） 審議概要

開催日及び場所	平成22年12月10日（金） 東北地方整備局 大会議室	
委員	部会長 佐藤 英世（東北学院大学法科大学院教授） 部会長代理 宮原 育子（宮城大学事業構想学部事業計画学科教授） 委員 京谷 孝史（東北大学大学院工学研究科土木工学専攻教授） 委員 熊谷 真宏（公認会計士・税理士）	
審議対象期間	平成22年 7月 1日 ～ 平成22年 9月30日	
審議案件	総件数 11件 （別紙－1 審議案件概要書 のとおり）	
工 事	一般競争入札（政府調達）	0件
	一般競争入札 （政府調達以外）	4件
	工事希望型競争入札	1件
	工事希望型以外の指名 競争入札	1件
	随意契約	0件
	建設コンサルタント業務等	3件
役務の提供等及び物品製造等	2件	
	（備考） ○入札結果及び工事・建設コンサルタント業務等の発注件数、指名停止件数・談合情報等の報告並びに低入札価格調査対象工事の件数等の報告を行った。	
委員からの意見・質問、 それに対する説明・回答	別紙－2のとおり	
委員会による意見の具申 又勧告の内容	別紙－3のとおり	

## 審議案件概要書

## ( 工 事 )

	工 事 名	入 札 方 式	場 所	契 約 金 額 (単位：千円)	入札参加者数
1	胆沢ダム洪水吐きゲート設備新設工事	一般競争入札方式 (政府調達以外)	岩手県奥州市	199,710	9
2	米代川上ノ野築堤工事	一般競争入札方式 (政府調達以外)	秋田県能代市	249,354	11
3	大広南道路改良工事	一般競争入札方式 (政府調達以外)	山形県鶴岡市	275,100	12
4	自然共生園管理施設整備外工事	一般競争入札方式 (政府調達以外)	宮城県柴田郡川崎町	66,990	11
5	北上川ダム管内光ケーブル敷設工事	工事希望型競争入札方式	岩手県盛岡市 外	36,320	3
6	いわき税務署(10)建築その他改修工事	工事希望型以外の指名競争入札方式	福島県いわき市	36,750	3

## (建設コンサルタント業務等)

	業 務 名	入 札 方 式	場 所	契 約 金 額 (単位：千円)	入札参加者数
7	象潟仁賀保道路事業認定申請図書作成業務	簡易公募型競争入札方式	秋田河川国道事務所	2,646	10
8	鳴子ダム利水放流設備設計業務	簡易公募型競争入札方式	宮城県大崎市	16,695	8
9	津軽ダム合理化施工検討評価業務	簡易公募型プロポーザル方式	津軽ダム工事事務所	26,040	1

## (役務の提供等及び物品の製造等)

	業 務 名	入 札 方 式	場 所	契 約 金 額 (単位：千円)	入札参加者数
10	パーソナルコンピュータ外賃貸借及び保守(11-02)	一般競争入札方式	東北地方整備局管内	63,882	6
11	凍結抑制剤(塩化ナトリウム)購入単価契約【湯沢・山形・酒田】	一般競争入札方式	湯沢河川国道事務所、山形河川国道事務所、酒田河川国道事務所	122,514	3

別紙－ 2

1. 報告	
意見・質問	説明・回答
<p>[談合情報等の対応状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・談合の疑義はあったが、その事実は認められなかったということだが、談合の可能性も無かったのか。</li> </ul> <p>[低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・低入札発生件数や割合が低減してきている理由は。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・談合疑義・情報等があった場合は、公正入札調査委員会で調査し対応している。</li> <li>・発注方法の施工体制確認型の効果も考えられる。</li> </ul>

2. 審議	
<b>1 胆沢ダム洪水吐きゲート設備新設工事</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・入札調書で、2者が入札無効になっているがなぜか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施工体制確認型総合評価落札方式なので、調査基準価格を下回ったため追加資料の提出を求めたが、提出を辞退したので、無効とした。</li> </ul>
<b>2 米代川上ノ野築堤工事</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・競争参加資格要件の県内や生活圏内に本社や本店等が所在することとあるが、この要件を無くせば、競争性が高まり合理的な入札結果が得られるのではないか。</li> <li>・入札の無効が多いが、競争性の観点からも入札の無効を防ぐ方策はないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要件を満たす業者数等を勘案しながら、競争性の確保に努めている。今回は15者が競争参加可能であり、競争性は確保されていると考えている。</li> <li>・いわゆる「ダンピング受注」は、適切な施工体制が確保されないおそれがある。品質確保のため施工体制確認型の総合評価落札方式を採用している。</li> </ul>
<b>3 大広南道路改良工事</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合評価図を見ると、入札価格の分布が偏っているが、どのように考えているのか。</li> <li>・技術提案の加算点が、優：30点、良：15点、可：1点となっている。あまりにも配点の差がありすぎるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどの歩掛・単価が公表されているためと考えられる。</li> <li>・技術提案の標準案は、共通仕様書どおりなので加点しない扱いとしている。それより良い提案は、加点している。</li> </ul>

意見・質問	説明・回答
<b>4 自然共生園管理施設整備外工事</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・入札調書において、評価値欄の記載がない業者があるのはなぜか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入札価格が予定価格を超えているものは空欄としている。</li> </ul>
<b>5 北上川ダム管内光ケーブル敷設工事</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大手業者でも技術資料の提出を辞退しているが、どのような理由か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・推測であるが、必要な技術者の配置ができなかったことなどが考えられる。</li> </ul>
<b>6 いわき税務署（10）建築その他改修工事</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・10者も指名したにもかかわらず、入札参加者が3者だけなのはなぜか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「居ながら改修」の手間のかかる工事であることから、工事監理等の厳しさなどが推測される。</li> </ul>
<b>7 象潟仁賀保道路事業認定申請図書作成業務</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・落札率66.4%であるが、積算はどのように行われているのか。</li> <li>・落札者はかなり低い価格で応札しているが、このような応札価格では契約の公平性を阻害しているのではないか。</li> <li>・土地収用法による事業の認定を得るための資料作成ということだが、本来職員で対応すべき業務ではないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路事業における本業務は、対象となる区間の延長を基に行っている。</li> <li>・受注実績があり業務内容の理解度も高かったことや、受注意欲などが推測される。</li> <li>・事業の認定を得る規模や工程、他の業務の状況等も勘案し、業務委託により実施したものである。</li> </ul>

意見・質問	説明・回答
<b>8 鳴子ダム利水放流設備設計業務</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・入札額の数字の近似性がみられるが、どう考えるのか。</li> <li>・放流設備改良ということだが、事前に概略設計を行っていたのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩掛のない工種については、指名業者から参考見積を取り、採用した歩掛は公表している。よって、似かよった価格帯になっていると思われる。</li> <li>・昨年度の概略設計をもとに、今回実施設計を行うものである。従って、業務内容を勘案し簡易公募型競争入札方式としたものである。</li> </ul>
<b>9 津軽ダム合理化施工検討評価業務</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダム建設工事において、この業務を実施するメリットは何か。</li> <li>・「技術提案書の提出者を選定するための基準」の工事实績、工事成績、表彰等の評価期間がバラバラであるが、この期間の差に合理性はあるのか。</li> <li>・実績等を評価する期間について、本省や各地方整備局において、統一したルールになっているのか。</li> <li>・発注にあたって、これらの実績要件は大きなウエイトを占めている。統一性や合理性を十分検討すべきだ。</li> <li>・実績要件の同種・類似業務のある会社が8者あるということだが、1者しか応募してこないのはなぜか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寒冷地ダムでの高速化施工の実現により、工期短縮、コスト削減を図るものである。</li> <li>・評価を行う内容が、それぞれの項目によって異なっているためである。</li> <li>・東北地方整備局として運用している。</li> <li>・実績要件については、民間も参入できるよう設定している。</li> <li>・推測だが、業務体制・スタッフ確保等について、十分吟味する必要があったことなどが考えられる。</li> </ul>
<b>10 パーソナルコンピュータ外賃貸借及び保守（11-02）</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・買取ではなくリースを選んだ理由は何か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パーソナルコンピュータについては、一般的に買取よりリースが主流になっている。パーソナルコンピュータは技術革新等により同じ性能で納入した場合、納入価格が安くなることもあり、3年リースで対応している。</li> </ul>

意見・質問	説明・回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・買取なのかリースなのか、これは企業会計でも非常に重要な論点である。買取とリース3年で、どちらのキャッシュフローが安くなるか検討されたと思うが、リースの場合は金利計算も必要となる。</li> <li>・買取とリースでは、どちらが経済的に合理的なのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約にはパーソナルコンピュータの保守契約も含まれており、機器にトラブルが発生した際に、業務に支障を与えない体制が確保されている。</li> <li>・製品の性格上、パーソナルコンピュータの性能等のこともあり、リース期間を3年程度にしているが、これらも織り込んだ形での経済比較はやっていく。</li> </ul>
<b>1 1 凍結抑制剤（塩化ナトリウム）購入単価契約【湯沢・山形・酒田】</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・塩化ナトリウムの性能は、メーカーによって違いはあるのか。</li> <li>・入札参加者が3者になったのは、購入予定数量が増えたからか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製品の規格は仕様書により規定しており、提出された納入予定の品質証明では規格を満たしている。</li> <li>・参加資格要件を広げることにより、競争性を高めたものである。</li> </ul>

別紙-3

3. 委員会による意見の具申又は勧告内容

・なし